

世界の出来事を「自分ごと」としてとらえよう

氏名：木村 あずさ

学校名：三郷町立三郷北小学校

担当教科：全教科

実践教科：総合的な学習の時間

時間数：6時間

対象学年：第3学年

人数：118人(4クラス)

【実施概要】

【1】単元のテーマ・目標：世界の出来事を知り、自分たちと関係があることに気づき、 自分にできることを考えることができるようにする。	
【2】 単元の評価 規準	(ア) 関心・意欲・態度 ルワンダをきっかけに、世界の国々やその国の出来事に関心をもつことができる。
	(イ) 思考・判断・表現 世界の子どもたちの現状を知り、世界の平和や課題について考え、自分の考えを伝えることができる。
	(ウ) 技能 自分が継続してできる SDGs の目標を作ることができる。
	(エ) 知識・理解 世界の国々の子どもたちの生活や世界の平和、SDGs について理解することができる。
【3】 単元設定の理由	<p>教師海外研修に参加して、「平和とは何か?」「豊かさとは何か?」と改めて考えさせられた。普段日本で生活していると、今の生活が当たり前だと思っている。しかし、世界に一步出てみると、様々な暮らしがあることに気付く。訪問したルワンダは、ジェノサイドから25年経ち、表向きは復興しているように見えるが、まだまだ傷跡が癒えていない。虐殺記念館や教育委員会、学校などを訪問し、現地の先生たちと交流し、国や経験は違っていても、子どもたちを思う気持ちに変わりはなく、平和の大切さを伝え、継続して取り組んでいくことは重要だと思った。研修を経て、伝えたいことはたくさんあるが、「平和とは何か?」、「豊かさとは何か?」の2点に絞って授業を考えることにした。</p> <p>児童観：本校は大阪府に近い奈良県ベッドタウンに所在し、自然の豊かな環境にある。最近では人口が増え、核家族が多い。児童は、素直で優しく、好奇心旺盛である。その一方で、時代の影響を受け、個人や少人数でインターネットやゲームなどをして遊ぶ子どもが多く、攻撃的な言葉で相手を傷つけてしまったりする場面も見受けられる。また普段は学校生活において時間を取ってじっくり考え、考えたことを丁寧に友だちに伝える機会を十分に取れていないと感じている。</p> <p>指導観：児童は、世界の国々や戦争について知らない子が大半である。こうしたテーマに興味をもち、視野を広げるために、1学期から戦争や平和に関する本の読み聞かせをしてきた。また一人ひとりが平和の絵を描き、クラスのみんなで一つの絵にする時間を</p>

設定した。2学期には、国語科の「ちいちゃんのかげおくり」で、主人公のちいちゃんの気持ちを考えさせると同時に、「戦争がちいちゃんから奪ったものは何か」、「ちいちゃんの願いは何か」という2点について考えさせてきた。またこの「ちいちゃんのかげおくり」の授業のあとに、教師海外研修中にルワンダの現地の子どもたちと平和について考えた絵（付箋）を使い、クラスで実践授業を行った（【4】展開計画、3時参照）。

本学習では、ルワンダの子どもたちが考える平和や幸せに触れることで、家族の大切さやその中で自分の役割を感じ、また、多様な社会を生きていく子どもたちに、「違い」をお互いの個性として認め合える子どもに育つような素地作りをしたいと考えた。さらに、平和のためにできることを考えさせ、その際に、話し合い、伝え合う活動を多く取り入れ、問題解決の態度を養っていきたいと考えている。

【4】展開計画（全6時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
0	世界とのつながり探し * 子どもたちは世界と直接関わりがないと思いがちだが、実は世界とつながっていることを知る。	・ 身近にある外国製のものに出会ったら、白地図にその国とものを書き込んでいく。 （10月25日～11月15日）朝学や給食後のすきま時間を活用する。	・ 世界の白地図拡大用紙 ・ 世界地図 ・ 国旗
1	ルワンダを知ろう * ルワンダに関する基礎知識を学ぶ。 * ルワンダに興味をもつ。	・ アフリカってどんなところ？ ・ ルワンダのイメージを共有する。 ・ 世界地図を見て、場所や大きさを確認し、国旗の意味を知る。 ・ 「こんにちは」「ありがとう」の世界のあいさつと言葉を知る。 ・ ルワンダの写真を見せて、日本と同じところと違いについて気付いたことを出し合う。 ・ ルワンダの文化紹介（あいさつ・服装・食事・学校） ・ ルワンダで実際に使われているものに触れる。	・ 写真（パワーポイント） ・ 世界地図 ・ ワークシート ・ ルワンダから持ち帰ったもの
2	ルワンダの暮らし（生活習慣・水・食事） * ルワンダの人々がどんなふうに暮らしているかを知る。 * 自分たちの生活と似ているところや異なるところについて考える。 * 日本の環境が恵まれていることに気付く。	・ ルワンダの子どもたちは、どんな生活をしているのかな？ ・ ジェリカンの写真を見て、何に使うものなのか予想する。 ・ 毎日子どもも大人も水くみをしていて、主に子どもたちの仕事であることを写真で知る。 ・ 20リットルのポリタンクに水を入れたものを実際に持ち、その重さを体感する。 ・ ルワンダの一般の家庭の写真を見せ、日本との違いや気付いたことを出し合う。 ・ 食事の内容や栄養不足の子どもが多いことを知り、日本や私たちの食の現状と比べる。	・ ジェリカン（20リットルポリタンク） ・ NOOTRI FAMILY ・ 写真 ・ 動画 ・ 三郷町立給食センターの残食量のデータ ・ ワークシート

<p>3 本時</p>	<p>平和について</p> <p>* 国が違っていても、平和を願う気持ちや大切なものは共通していることに気付く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1学期にかいた平和の文や絵を見る。 ・ ルワンダの小学校での交流の写真を見る。 ・ 「ちいちゃんのかげおくり」で考えた平和について想起する。 ・ カードを使って、ルワンダの子どもの平和や夢を想像する。 ・ ルワンダでの戦争と平和の取り組みを知る。 ・ 授業を振り返り、感想を書き、伝え合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが描いた平和の絵 ・ 写真 ・ ルワンダの子子どもたちが書いたカード ・ ワークシート ・ 付箋
<p>4</p>	<p>世界の子どもたち</p> <p>* 先進国と開発途上国の関係を知る。</p> <p>* 私たちの生活や豊かさは開発途上国に支えられていて、その依存度の高さから開発途上国に支えられている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ お好み焼きの材料はどこから来ている？（食べ物編） ・ 私たちが使っている身の回りのモノはどこから来ている？（スマホ・テレビゲーム・服・くつなど） ・ くらべてみよう、日本と世界（識字率・電気を使えない人の数など） ・ 世界を取り巻く課題と JICA の取り組みを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Find the Link ・ どうなってるの？世界と日本 第二版（JICA） ・ 写真 ・ ワークシート
<p>5</p>	<p>SDGs ってなに？</p> <p>* SDGs の 17 の目標を知る。</p> <p>* SDGs を児童の視野を広げる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国連気候行動サミットでのグレタ・トゥーンベリさんの演説を紹介する。 ・ SDGs とは何か？世界の未来を変えるための 17 の目標であることを知る。 ・ 私たちが住んでいる三郷町も SDGs に取り組んでいることを知る。 ・ 特に、児童に関係している SDGs を確認する。 ・ 家庭内で SDGs の取り組みに関係のある行動をしているか調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共につくる私たちの未来 SDGs から「持続可能な社会の創り手」への一歩を（JICA） ・ SDGs カード ・ ワークシート
<p>6</p>	<p>「自分ごと」としてとらえよう ～三北から始める SDGs～</p> <p>* SDGs を自分ごととしてとらえ、地域や学校という自分たちにできそうなことを具体的に見つけさせる。</p> <p>* その後、自分たちで作った目標に向かって取り組み、広めていく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 家で SDGs に関わる取り組みをしていたか、共有する。 ・ その中から、自分が継続してできそうな SDGs の目標について、具体策を考える。 ・ 「ルワンダの子どものためになること」、「家でできること」、「三郷町のためにできること」の三つの視点で考える。 ・ 個人で考えた SDGs の目標をクラスで共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共につくる私たちの未来（JICA） ・ SDGs カード ・ ワークシート

【5】 本時の展開			
過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ルワンダの子どもたちの写真を見る。 1学期に描いた自分たちの平和の絵を思い出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが一生懸命考えて描いた絵を見て、「ルワンダの子どもたちから返事が届いたよ。」と、学 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが描いた平和の絵 写真 ワークシート
<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>ルワンダの子どもたちにとっての平和とは？ ～返事を読み取ろう～</p> </div>			
展開 (32分)	<ul style="list-style-type: none"> ルワンダの子どもたちが書いてくれたカードについて考える。 班ごとにカードのメッセージから、感じたことや気付いたこと、尋ねてみたいことを書いて班で共有する。 班ごとに自分たちが感じたことを発表して、クラスで共有する。 ルワンダでは何があったのか、本を参考に理解する。 ルワンダの大人たちが、現在平和のために努力していることを知る。 ルワンダの子どもたちの平和の取り組みを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> カードの写真4種類×2セットを用意し、班ごとに違うカードを見て考えさせる。 初めは、英語のメッセージのまま、絵から感じ取らせる。 その後、日本語の意味を書いたカードを渡す。 ルワンダでのジェノサイドの歴史を簡単に伝え、現在の平和の取り組みを理解できるように伝える。 日本と同じで平和についての取り組みを知り、平和の大切さや平和を努力しながら守っていることを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ルワンダの子どもたちが書いたカード 付箋 「ルワンダの祈り 内戦を生き延びた 家族の物語」 後藤健二 筆 写真
まとめ (8分)	<ul style="list-style-type: none"> 振り返り 今日の勉強で学んだことを書く。 クラスで共有する。 		

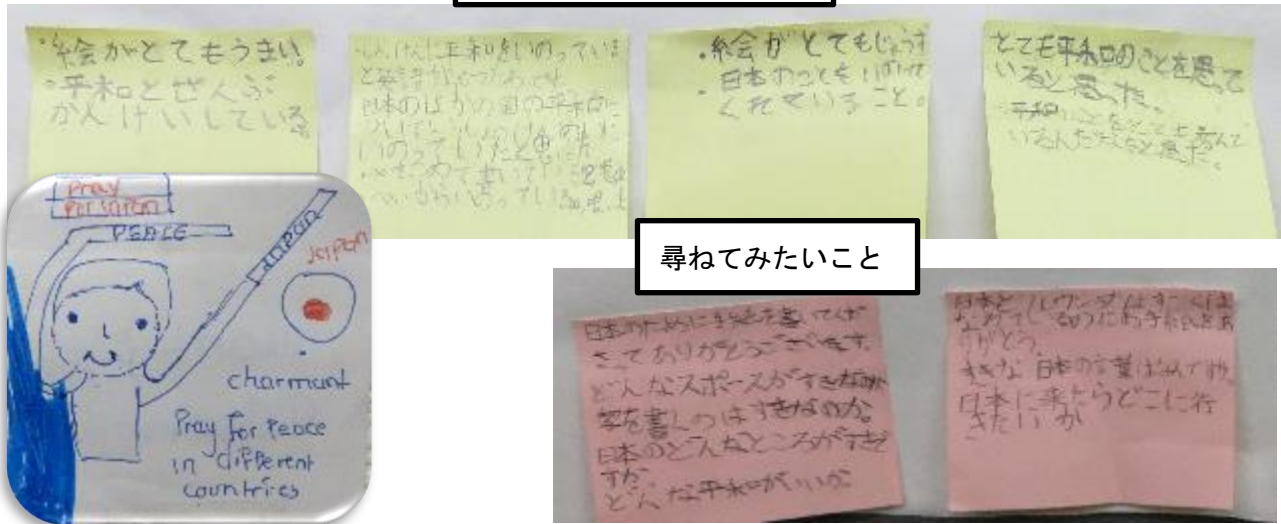
【授業実践の様子】



〈ルワンダからの手紙を
読み取る様子〉
習いたてのローマ字表を出
して、一生懸命読もうとして
いました。



感じたこと・気づいたこと



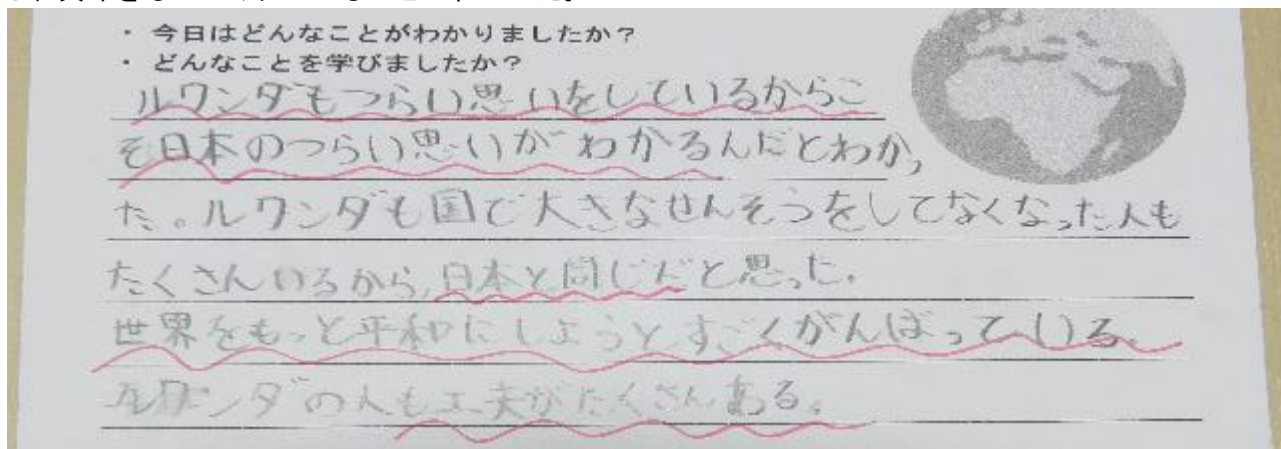
尋ねてみたいこと

【6】 本時の振り返り

1学期に児童全員が考えて描いた「平和の絵」に対して、ルワンダの子どもたちが、「自分たちにとっての平和」を真剣に考えて返事を書いてくれたことに大変嬉しそうな様子を見せていた。そのおかげで、本時の授業にぐっと入りこめたと思う。

3年生の児童に、ルワンダの歴史やジェノサイドを伝えることが大変難しかった。できるだけ簡単なわかりやすい言葉を使い、写真や本を活用してイメージできるように心がけた。

ルワンダの子どもたちが書いてくれたメッセージ読み取りでは、児童からルワンダの子どもたちへ尋ねてみたい内容がたくさん出てきた。子どもたちの方が、国の違いなど関係なく、ルワンダを身近に感じ、興味をもってくれていることがわかった。



「ウルワンダ」の人には、嬉しいおもいを、
でもくじけずに、平和な国にしよう、平和な世界
にしようとかんがえている。
「ウルワンダ」の人以外の国の人の平和も
ねがっていて、やさしいなと思った。
「ウルワンダ」の人は人の心や思いがすずく、
分かっている。

【7】単元を通じた児童生徒の反応/変化



自分たちの町も SDGs に取り組んでいることを確認しました。



普段家の中でしていることが、実は SDGs につながっていたんだね。



参観では、おうちの人と一緒に、SDGs を通して、自分たちに何かできることはないか考えました。

SDGs の振り返り

ペットボトルのゴミ

①できたら☑を入れましょう。

☐自分が決めた目標を取り組むことができたか？

☐SDGs を通して、世界の出来事にきょうみをもつことができましたか？

②自分が決めた行動目標につけかわえて、

あれを書きましょう。

自分の決めた目標を紙に書かせる町国

自分の行動目標 プラスチックゴミをださないようにしよう

①できたら☑を入れましょう。

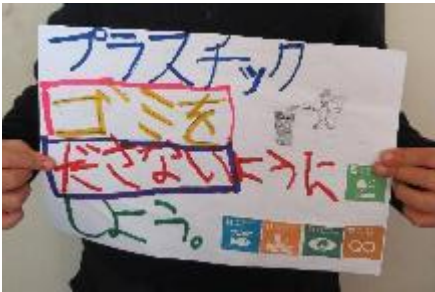
☐自分が決めた目標を取り組むことができましたか？

☐SDGs を通して、世界の出来事にきょうみをもつことができましたか？

②自分が決めた行動目標につけかわえて、さらに考えたことやしてみたことがあれば書きましょう。

プラスチック、ゴミをださないようにするために、かじょうに、プラスチックを買って

自分たちの行動目標



肌色でもこんなにたくさん
の色があるんだね！

私たちの身の回りのもの
は、世界のいろいろな国
から来ているんだね。



ペーパービーズを作りました！



エコの観点から、広告を巻いて作りました。
感謝の気持ちを込めて、プレゼントしました。

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

- ・ 世界の国々に興味をもつようになった。
- ・ 自分たちが持っている文房具の中で、下敷きや筆箱、鉛筆に国旗の柄があると、ルワンダを探して教えてくれるようになった。
- ・ SDGs を学んでから、自分たちにできることを意識するようになった。
- ・ 特に給食を残すことが減ってきた。なるべくみんなで食べようとしてくれるようになった。
- ・ 「残食を減らしていくと、SDGs の 17 の目標を達成できるね。」と子どもたちから言ってくれるようになった。

【途上国・異文化への意識の変容】

(授業前)

- ・ 外国と言えば、アメリカ・中国・韓国などテレビでよく見る国しか知らない児童が多かった。
- ・ アフリカって、どんなところ？どんなイメージ？と聞いてみると…
→にぎやかで楽しい陽気なイメージ・暑そう・サバンナがある・肌が黒い・動物が多い・貧しい・自然が多そう・ラグビーが強い・野生のゾウがいる

(授業後) <ul style="list-style-type: none"> ・ 国によって感じ方や考え方が違う。 ・ 肌の色は人によって全然違う。 ・ 世界には、苦しんでいる人がどれだけ多いのかがわかった。 ・ 栄養が十分じゃない人がたくさんいることがわかった。 ・ 日本は学校に行けることが当たり前だけど、がんばろうとしている国（途上国）は、学校に行けない人もたくさんいて、子どもも働いてお金をもらっていることがわかった。 	
--	--

【8】自己評価

1. 苦労した点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3年生にルワンダの歴史やジェノサイドを教えるかどうか大変迷った。歴史を習っていない子どもたちに、どうすれば伝わるか、わかりやすい言葉に変換することが大変難しかった。 ・ SDGsの内容も3年生には難しいので、世界のことを知った上で、少しでも興味を持ってもらえるように導入の仕方に苦労した。
2. 改善点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の授業は、「平和の絵」を実際に描いた現在のクラスでしか使えないので、平和の絵とルワンダの子どもたちの付箋（手紙）の導入の仕方を変更する。 ・ SDGsを導入する際に、時間が足りなくて急ぎ足になってしまった。今後は、もう少しわかりやすい例を出して、児童の理解を深めたい。
3. 成果が出た点	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが世界の出来事に関心をもつようになった。 ・ ルワンダをきっかけに、世界の国々に興味をもち始めた。 ・ 今ある当たり前の生活をありがたく感じたり、平和の大切さを考えたりできるようになってきた。 ・ SDGsを通して、環境のことを考えたり、食べ残しを減らしたり、自分ごととして考えられるようになってきた。

参考資料：

- ・ 『ちいちゃんのかげおくり』
作者：あまん きみこ 出版社：あかね書房 発行年：1982年
- ・ 『さがしています』
作者：アーサー・ビナード 出版社：童心社 発行年：2012年
- ・ 『ルワンダの祈り-内戦を生きのびた家族の物語-』
作者：後藤 健二 出版社：汐文社 発行年：2008年
- ・ 『わたし8歳、カカオ畑で働きつづけて。～児童労働者とよばれる2億1800万人の子どもたち～』
著者：岩附由香・白木朋子・水寄僚子（児童労働を考えるNGO=ACE）
発行所：合同出版株式会社 発行年：2007年
- ・ 『未来の授業 私たちのSDGs探究BOOK』
発行者：東 彦弥 発行所：株式会社宣伝会議 発行年：2019年
- ・ Peters World Map
- ・ SDGs入門 JICA
- ・ Find the Link どうなっているの？世界と日本 第二版 JICA